

# ベルーフニュース vol.40

発行日：2021年12月17日

## ♪2021年の就労実績報告！

今年は、夏の「総合説明会」に企業、支援機関、ハローワーク等の担当者様に参加して頂き、IT 専門職で雇用できる能力を持った障害者が存在する事をお知らせ出来た実り多い1年間となりました。またコロナ禍の厳しい状況にあっても、7名が専門職就労を果たしました。引き続きベルーフの理念である「地域で安定して長く働き生活を楽しむ」を支援していく所存です。

## ♪組み込み C/C++プログラミング研修開始

ベルーフのプログラミングの研修は、6年前から C 言語、JAVA、Python、PHP 研修と順次領域を広げて研修を作り実施してきました。

そして、この9月～11月には、新研修として、**組み込み C/C++プログラミング**研修をスタートさせました。この研修は、今までのデータ処理中心のプログラミング研修ではなく、写真のようなマイコンボードを動かすプログラムを作る研修です。実際に研修を受けた研修生からは、以下のような従来に比べ効果的なプログラミング研修が出来たという感想を頂いています。

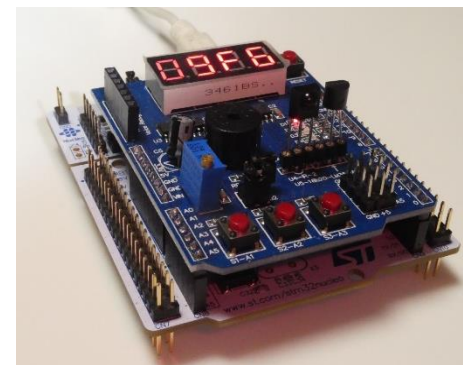
- 楽しかった。自分の書いたプログラムで機材が動いたときの喜びは、他の研修では得られない。(研修生 Tさん)
- 実際の機材を動かしながらの研修は理解が深まりやすく楽しい。(研修生 Sさん)
- 目の前で動作することが確認できるので理解しやすかった。(研修生 Kさん)

ベルーフでは、2進数や論理演算などコンピュータの基礎を座学で教える情報基礎リテラシーという科目を基礎科目として7年前の開所当初から全

員に行っています。組み込み C/C++プログラミング研修は、この情報基礎リテラシーの一部を実際にプログラムを動かして体験できる内容です。研修中の演習課題は、作ったプログラムがマイコンボード上の部品の動きにどのように現れるかを目で見て分かるようになっていました。これが感想にあるようにモチベーションのアップや理解の深まりに繋がってくるのではないかと考えています。

組み込みプログラミングというと求人のあまり多くない装置開発のイメージがあり、これまで研修には取り入れてこなかったのですが、ITの基礎を学べ、かつプログラミング研修をより効果的に行うツールとしての活用方法があることに今回の取り組みで気付きました。

現在、ベルーフでは、プログラミング研修を受ける人達の多くが文系出身者や理系でも授業でやっただけ、IT関係の会社に勤めていてもプログラミングはやったことがない人達です。そこで、文法がシンプルで学びやすい Python から訓練を開始するようにしています。それでも難しさからモチベーションが続かず、しっかりとゴールできない人も少なくありません。こんな研修にも組み込みのような目に見えるものを動かす要素を取り入れたら効果的ではないかと構想を練っているところです。



## 就労移行支援事業所ベルーフ

東京都指定障害福祉サービス事業所 1310500739

〒112-0002 東京都文京区小石川5-4-1 瑞穂ビル9階

E-mail [info@beruf.xyz](mailto:info@beruf.xyz) Web <http://beruf.xyz/>

Facebook <http://www.facebook.com/beruf.xyz/>